

令和7年度事業結果

令和7年度は、京都市市民防災センター（以下「市民防災センター」という。）が開館30周年を迎えたことから、「30周年キャンペーン」として、市内自主防災会、消防団、市内小学校の団体来館者には、防災グッズなどのノベルティをお渡ししました。併せて、8月30日（土）・31日（日）には「防災×アウトドア」と題して、特別イベントを開催し、9月1日（月）には市内自主防災会を対象に特別講演会とワークショップを実施しました。

また、「災害に強いまちづくり講座」が100回目となることから、特別記念講演として、京都大学防災研究所の矢守克也教授に講演をしていただきました。

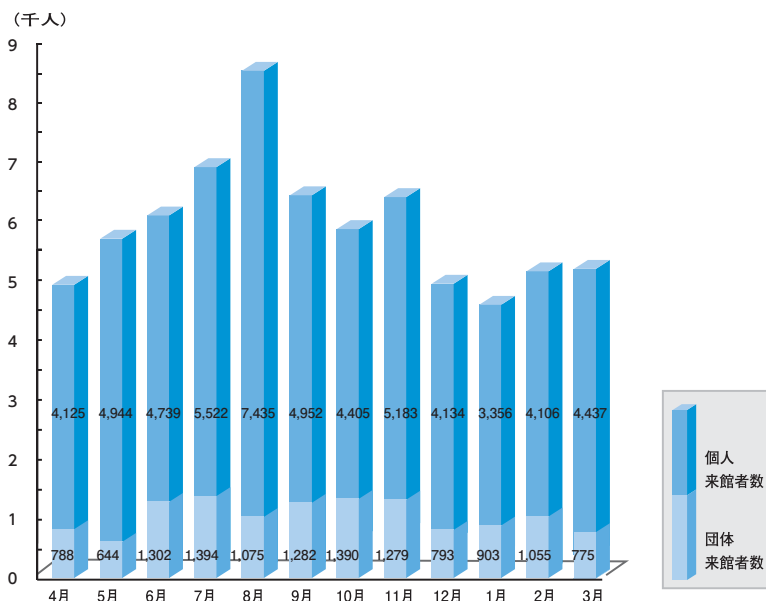
週末を中心にしたミニイベントについては、救急医療週間に乳幼児がいらっしゃる方を対象にした「ベビーのための応急手当講座」や防災とボランティア週間中の「絵本の読み聞かせ」など、親子で参加のできるイベントを実施しました。

京都市市民防災センターの管理運営

令和7年度の来館者数は、70,018人で、自主防災会、事業所、学校等の団体の来館は、568団体でした。

令和7年度来館状況

月別	団体来館者数（人）【団体数】		個人来館者数（人）	来館者数合計（人）	開館日数（日）
4月	788	【35】	4,125	4,913	25
5月	644	【33】	4,944	5,588	26
6月	1,302	【57】	4,739	6,041	24
7月	1,394	【58】	5,522	6,916	26
8月	1,075	【50】	7,435	8,510	26
9月	1,282	【60】	4,952	6,234	25
10月	1,390	【56】	4,405	5,795	26
11月	1,279	【61】	5,183	6,462	25
12月	793	【34】	4,134	4,927	22
1月	903	【38】	3,356	4,259	22
2月	1,055	【47】	4,106	5,161	23
3月	775	【39】	4,437	5,212	25
合計	12,680	【568】	57,338	70,018	295



防災 体験コーナー

1 F



地震体験室



映像体験室



強風体験室

2 F



消火訓練室



避難体験室



総合訓練室

3 F



4Dシアター「迫りくる地下街の恐怖」



アンダーパスの危険性



消防ヘリコプター(シミュレーター・エアレスキューパイロット)



土砂災害体験コーナー(リアルシアター)

館内図



1F

- ① 受付
- ② オリエンテーションステージ
- ③ 地震体験室
- ④ 強風体験室
- ⑤ 映像体験室



2F

- ① 消火訓練室
- ② 避難体験室
- ③ 通報訓練コーナー
- ④ 総合訓練室
- ⑤ 暮らしの安全コーナー



3F

- ① 4Dシアター「迫りくる地下街の恐怖」
- ② アンダーパスの危険性
- ③ 出動!!こども消防隊
- ④ 消防士に大変身!!
- ⑤ 土砂災害体験コーナー
- ⑥ 消防ヘリコプター(シミュレーター・エアレスキューパイロット)
- ⑦ 視聴覚室
- ⑧ 令和8年度中改修予定

防火・防災に係る 各種イベント



アウトドア×防災イベント



講演会&ワークショップ



子どもたちの描く消防の図画展示会



防災絵本の読み聞かせ会



パネル展示

京都市市民防災センターでは、幼稚園、保育園等の子どもたちが描いた消防図画の展示会を開催しました。また、防災週間及び防災とボランティア週間に合わせて防災イベントを開催し、来館者に対して防火防災意識の高揚に努めました。

～ 防災週間 ～ 防災イベント

京都市市民防災センター開館30周年を記念し、「アウトドア×防災イベント」、特別イベント「講演会&ワークショップ」の開催

子どもたちの描く消防の図画展示会

京都市消防局が行う消防図画募集に応募があった幼稚園、保育園等の子どもたちの作品展示

～ 防災とボランティア週間 ～ 災害パネル展示会及び 防災絵本の読み聞かせ防災イベント

阪神淡路大震災のパネルの展示、防災絵本の読み聞かせ会

防災講演会の開催



災害に強いまちづくり講座(I) 池田 氏



災害に強いまちづくり講座(II) 杉本 氏



災害に強いまちづくり講座(III) 矢守 氏

近年、国内で多発化している異常気象や風水害、また、地震災害等、「水災害への備え」、「自然災害への備え」をテーマとした防災講演会を京都市市民防災センターで開催し、市民に対して防災情報の提供を行いました。

災害に強いまちづくり講座 (I)

テーマ：「水災害への備え」

実 施 日	令和7年7月6日(日)
会 場	京都市市民防災センター
講 師	京都府災害派遣福祉チーム(京都DWAT) 池田 正樹 氏
演 題	西日本豪雨における岡山県倉敷市真備町での 避難所活動、避難行動につながる備えと支援に ついて

災害に強いまちづくり講座 (II)

テーマ：「自然災害への備え」

実 施 日	令和7年11月8日(土)
会 場	京都市市民防災センター
講 師	「やさしい日本語」有志の会 杉本 篤子 氏
演 題	「やさしい日本語」って何? ～外国人に伝わる、日本人にもわかりやすい～

災害に強いまちづくり講座 (III)

テーマ：「自然災害への備え」

実 施 日	令和8年2月28日(土)
会 場	京都市市民防災センター
講 師	京都大学防災研究所教授 矢守 克也 氏
演 題	「ふだん使いの防災」 ー『ふだん』と『まさか』の接点をつくるー

防火・防災講習等の開催 (自主事業)

■ 防火・防災講習

日本消防設備安全センター受託講習

- 自衛消防業務講習
- 防火対象物点検資格者講習
- 防災管理点検資格者講習

日本防火・防災協会受託講習

- 防火管理講習
- 防災管理講習
- 防火・防災管理講習

■ 救命講習

- 応急手当普及員講習

他機関との事業調整

- 普通救命講習
- 上級救命講習

京都市消防局と連携を図り、次の講習を開催し、事業所の防火・防災体制の強化と市民の応急手当能力の普及啓発を図りました。

実施回数 (回)		受講者数 (人)
新規講習	18	567
再講習	12	379

実施回数 (回)		受講者数 (人)
新規講習	1	37
再講習	2	30

実施回数 (回)		受講者数 (人)
新規講習	1	19
再講習	1	20

実施回数 (回)		受講者数 (人)
甲種防火 新規講習	23	2,078
甲種防火 再講習	1	99
乙種防火 講習	2	133

実施回数 (回)		受講者数 (人)
新規講習	1	95

実施回数 (回)		受講者数 (人)
新規講習	13	1,200
再講習	1	80

実施回数 (回)		受講者数 (人)
新規講習	13	110
再講習	12	74

京都市消防局が実施した講習会に係る事業調整を実施しました。

広報広聴活動の実施

■ 市民防災センターの来館勧奨

市民防災センターの利用促進を図るため、次の来館勧奨用案内チラシ等を作成し、消防署等を通じて、市内の自主防災会等に来館勧奨用案内チラシ等を配布し、利用勧奨に努めました。

- 来館勧奨用案内チラシ(開館日カレンダー入り) 65,000部
- 来館勧奨用案内チラシ 3,000部
(事業所研修案内及び開館日カレンダー入り)

■ 各種講習の受講勧奨

各講習会の受講案内書等を作成し、市内各消防署等へ配布し受講希望者の利便を図りました。

- 「応急手当普及員講習」受講案内 2,600部
- 「防火管理講習・防災管理講習」日程チラシ 6,200部

■ 広報媒体による情報提供



啓発用ステッカー

自主防災会や事業所等に対して、新たな防災情報を発信するため、広報媒体(冊子)を作成し配布しました。

- 「災害に強いまちづくり講座」講演録 11,000部

協会の事業内容等について、消防防災関係事業団体等へ配布しました。

- 令和7年度版一般財団法人京都市防災協会「事業概要」400部

「感震ブレーカー」の普及啓発用ステッカー等を作成し配布しました。

- 「感震ブレーカー」の普及啓発用ステッカー 500部
- 「感震ブレーカー」の有効性を周知するチラシ 4,000部
- 「AEDの設置場所」の周知促進のためのチラシ 15,000部

■ インターネットによる情報提供

市民防災センターのホームページ及びInstagram等に当センターの体験施設の紹介・案内、また、各講習会の開催予定等の情報を提供し、市民防災センターの利用促進に努めました。

- インターネットからの発信回数 156回
- Instagramからの発信回数 81回
- ※フォロワー数 1,473 (R8.3.31現在)

■ 報道機関等への情報提供

報道関係機関や情報誌の発行社などに対し、災害の疑似体験を通じた災害時の対処法や日頃の備えの重要性及び京都市市民防災センターの施設紹介などについて、取材対応を通じて防火防災情報等を発信しました。

- テレビ及びラジオ放送回数 4回
- 新聞等掲載回数 3回

■ 広聴活動

防災用品の普及啓発
及び販売

インターネットEメール、来館者アンケート（窓口サービス評価）等による広聴活動を行いました。

来館者アンケート（窓口サービス評価）では、令和7年9月10日（水）から10月13日（月・祝）までの間に来館された13歳以上の方にアンケート用紙を配布し、1,001名から回答を得ました。

職員の対応等5項目の評価結果は、その平均が、5点満点中4.77と高評価でした。

各体験コーナーの評価結果（令和7年度）

映像	地震	強風	避難	消火	土砂災害	地下鉄	平均
4.46	4.75	4.70	4.68	4.70	4.49	4.61	4.62

窓口サービス評価結果（令和7年度）

対応の仕方	身だしなみ	接遇の態度	説明の仕方	窓口の印象	5項目の平均
・あいさつ ・言葉づかい	・清潔感 ・ふさわしい服装	・笑顔、表情 ・姿勢、誠実感	・親切、丁寧 ・わかりやすさ	・整頓整理 ・案内表示	
4.77	4.78	4.77	4.76	4.77	4.77

注:各項目5点満点で評価（大変よかった＝5点、よかった＝4点、普通＝3点、あまりよくなかった＝2点、よくなかった＝1点）

市民防災センターの来館者に対して、防災体験を通じて防災用品の備えの必要性について普及啓発を図るとともに、防災用品の販売（斡旋）を行いました。

1年間で販売した主な防災用品（販売数上位5位）

災害用簡易トイレ（5回分）	317個
非常用給水バック（5L3L合わせて）	291個
消火用バケツ	261個
アルファ化米	238個
缶パン	214食

令和7年5月1日から販売開始した消防公式キャラクターグッズ

クリアファイルなど（6種類）	491個
----------------	------

防火防災啓発器材等の貸出し

■ 防火防災啓発器材の貸出し

市民や各種団体等に対して、防火防災啓発器材及び防災ビデオ等の貸出しを行いました。

地震等に関する災害写真パネル（阪神淡路大震災・能登半島地震等）及び非常持出品の防災用品を、消防署を通じて貸出を実施いたしました。

○貸出件数 18件

■ 防災ビデオの貸出し

市民、事業所及び各種団体等に対して、防災ビデオの貸出を実施いたしました。

○貸出件数 153件

○貸出本数 329本

他団体との連携事業



消防出初式（防災用品展示コーナー）

令和7年度は、京都市消防局その他の団体との連携事業を行いました。

○京都市消防局との連携

「京都市総合防災訓練」防火・防災啓発ブースでの防災用品の展示

「消防出初式」市民防災体験・展示ブースで防災用品の展示

開館30周年イベントの実施

第9回京都市消防団フェスタ周知ポスター作製費を支援

リチウムイオン電池火災啓発コーナーの設置

感震ブレーカー啓発コーナーの設置及びビラの作成

○京都市内博物館施設連絡協議会等

「第29回京都ミュージアムロード」のスタンプラリー企画に参加

京都国際マンガアニメフェアにて、交通局とともにブース参加